教　育　振　興　室

目　　　　　次

高校教育改革課　-----------------------------------

高等学校課　-----------------------------------

高校再編整備課　-----------------------------------

支援教育課　-----------------------------------

保健体育課　-----------------------------------

高　校　教　育　改　革　課

目　　　　　次

教育改革推進グループ　-----------------------------------　〇

学校振興グループ　-----------------------------------　〇

事務執行概要

教育改革推進グループ

１　学校教育審議会答申を踏まえた府立高校の魅力化検討に関する事務

令和３年度大阪府学校教育審議会答申において、積極的な情報発信について指摘があったことを受け、中学生が進路選択を行う際に参考になるよう、「大阪府公立高等学校等ガイド」の内容を見直し、中学生や保護者のニーズに沿った情報を発信した。

２　多様な教育実践校に関する事務

　特定の学びや活動が得意・不得意な子どもたちや自分らしさを発揮したい子どもたちが、意欲的に自分らしく学び、社会で自立する力を身につけられる教育環境を充実させるため、少人数学級の実現や充実した体験型学習をはじめ従来の手法に捉われない教育活動を実施する「ステップスクール（多様な教育実践校から名称を変更）」として、令和６年度から府立西成高校と府立岬高校を指定することとし、一部の教育内容等を令和５年度より先行実施した。

|  |  |
| --- | --- |
|  | ５年度 |
| 予　算　額 | 25,923千円 |
| 決　算　額 | 18,312千円 |

３　府立高校における障がいのある生徒の支援に関する事務

（１） 障がいのある生徒に対する学校生活における支援（高等学校課との共管事業）

府立高等学校に在籍する障がいのある生徒が、学校生活の中で安心して学ぶことができるように、学習支援員、介助員、点訳技術者による支援を行った。

※予算計上課：高等学校課

（２）長期入院生徒学習支援事業

府立高校に在籍する生徒のうち、病気・けがによる入院等により長期間登校できないが、修学の意思を強く持ち、学習意欲がある生徒を支援するための非常勤講師を配置した。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | ４年度 | ５年度 |
| 予　算　額 | 3,489千円 | 3,398千円 |
| 決　算　額 | 1,934千円 | 2,123千円 |

（３）医療的ケア通学支援事業（支援教育課との共管事業）

通学中に医療的ケアが必要なために公共交通機関を利用できない等の理由により通学が困難な生徒の学習機会を保障するために、介護タクシー等に看護師が同乗し、登下校時の車内で医療的ケアを実施することにより通学を支援した。また、校内における医療的ケアに対応する看護師を配置した。

※予算計上課：支援教育課

４　知的障がい生徒自立支援コース、共生推進教室に関する事務

知的障がいのある生徒の高校での教育の充実を図るため、平成17年８月の大阪府学校教育審議会答申を踏まえて制度化した「自立支援推進校」と「共生推進校」において、知的障がいのある生徒が円滑に学校生活を送ることができるよう、コーディネーター等を配置した。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | ４年度 | ５年度 |
| 予　算　額 | 45,131千円 | 47,303千円 |
| 決　算　額 | 41,287千円 | 38,201千円 |

（１）自立支援推進校（11校）

府立高校に設置している学科にあわせて同学科「知的障がい生徒自立支援コース」を設置。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 学校名 | 学科 | 所在地 |
| 桜宮高等学校 | 普通科 | 大阪市都島区 |
| 阿武野高等学校 | 普通科 | 高槻市 |
| 八尾翠翔高等学校 | 普通科 | 八尾市 |
| 園芸高等学校 | 農業に関する学科 | 池田市 |
| 東淀工業高等学校 | 工業に関する学科 | 大阪市淀川区 |
| 柴島高等学校 | 総合学科 | 大阪市東淀川区 |
| 西成高等学校 | 総合学科（エンパワメントスクール） | 大阪市西成区 |
| 枚方なぎさ高等学校 | 総合学科 | 枚方市 |
| 松原高等学校 | 総合学科 | 松原市 |
| 堺東高等学校 | 総合学科 | 堺市 |
| 貝塚高等学校 | 総合学科 | 貝塚市 |

（２）共生推進校（10校）

府立学校が協力し、支援学校の生徒が高校に通って教育を受ける「共生推進教室」を府立高校に設置。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 設置校名 | 学科 | 所在地 | 本校（高等支援学校） |
| 金剛高等学校 | 普通科 | 富田林市 | たまがわ高等支援学校 |
| 枚岡樟風高等学校 | 総合学科 | 東大阪市 |
| 北摂つばさ高等学校 | 普通科 | 茨木市 | とりかい高等支援学校 |
| 千里青雲高等学校 | 総合学科 | 豊中市 |
| 信太高等学校 | 普通科 | 和泉市 | すながわ高等支援学校 |
| 久米田高等学校 | 普通科 | 岸和田市 |
| 緑風冠高等学校 | 普通科 | 大東市 | むらの高等支援学校 |
| 芦間高等学校 | 総合学科 | 守口市 |
| 東住吉高等学校 | 普通科・芸能文化科 | 大阪市平野区 | なにわ高等支援学校 |
| 今宮高等学校 | 総合学科 | 大阪市浪速区 |

５　高等学校支援教育力充実事業に関する事務

府立高校に在籍する知的障がいや発達障がいのある生徒への指導・支援について、校内支援体制や仲間づくり、教科指導等のノウハウを有する自立支援推進校等から４校を「支援教育サポート」校と位置づけ、府立高校及び府内の私立高校への訪問・来校相談等の実施により、支援教育の充実を図った。

　　また、教育支援体制等について、専門的見地から指導助言等を実施するための医療等専門家を派遣し、生徒のアセスメントや望ましい教育的対応について指導助言を行った。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | ４年度 | ５年度 |
| 予　算　額 | 9,276千円 | 9,941千円 |
| 決　算　額 | 7,848千円 | 8,785千円 |

６　府立高校における通級による指導に関する事務

　発達障がい等のある生徒に対し、学習上又は生活上の困難の改善・克服を目的とした指導を実施する通級指導教室を、府立高校11校に設置した。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 通級指導教室設置校名 | 学科 | 所在地 |
| 教育センター附属高等学校 | 普通科 | 大阪市住吉区 |
| 野崎高等学校 | 普通科 | 大東市 |
| 布施高等学校（全日制） | 普通科 | 東大阪市 |
| 富田林高等学校 | 普通科 | 富田林市 |
| 大手前高等学校（全日制） | 文理学科 | 大阪市中央区 |
| 柴島高等学校 | 総合学科 | 大阪市東淀川区 |
| 箕面東高等学校 | 総合学科（エンパワメントスクール） | 箕面市 |
| 松原高等学校 | 総合学科 | 松原市 |
| 和泉総合高等学校（全日制） | 総合学科（エンパワメントスクール） | 和泉市 |
| 岬高等学校 | 総合学科（エンパワメントスクール） | 岬町 |
| 中央高等学校 | 普通科・ビジネス科 | 大阪市中央区 |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | ４年度 | ５年度 |
| 予　算　額 | 788千円 | 788千円 |
| 決　算　額 | 677千円 | 762千円 |

７　生徒１人１台端末の活用促進に関する事務

〇府立学校スマートスクール推進事業（高等学校課との共管事業）

　ICTを活用した新時代の教育を実現するため、すべての府立中学校・高等学校の普通教室等に電子黒板機能付きプロジェクタ等を設置した。併せて、生徒１人１台端末の活用促進を図るため、ヘルプデスクを開設し、教職員の支援体制を整備するとともに、府立学校における実践事例の収集及び普及を行った。

※予算計上課：高等学校課

学校振興グループ

１　移管された大阪市立高校・中学校の管理・指導等に関する事務

　令和４年４月に大阪市から大阪府に移管した高等学校22校及び中学校２校について、他課と連携して移管後の学校運営が適切に行われるよう指導助言を行った。

２　公設民営学校の管理・運営に関する事務

　国家戦略特別区域法における学校教育法の特例を活用して開設された水都国際中学校・高等学校の管理運営を令和４年度～令和10年度まで学校法人大阪ＹＭＣＡに委託しており、管理代行料に関わる事務手続きと適切な管理運営に向けた指導助言を行った。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | ４年度 | ５年度 |
| 予　算　額 | 728,352千円 | 767,258千円 |
| 決　算　額 | 728,070千円 | 767,089千円 |

３　商業高校の魅力化検討に関する事務

　商業系高校において、大阪の産業を支える人材としてグローバル化・情報化が進展するビジネス社会で求められる資質・能力を育成するため、令和４年度に有識者７名からなる「未来志向の商業系高校の実現に向けた懇話会」において検討した高等教育機関や産業界等と連携した学習活動や府民への広報活動等について、実践できるよう「商業系高校魅力化プロジェクト」において指導助言を行った。（令和５年度開催実績：計５回）

【新規】（１）２０２５年日本国際博覧会実業系高等学校魅力発信事業費

メタバース空間に「大阪府立バーチャル高校」（愛称：EEnen（ええねん））を構築し、商品開発や広告等を学ぶ商業系高校４校で先行的に活用し、万博テーマに関する発表会などを４回実施した。

|  |  |
| --- | --- |
|  | ５年度 |
| 予　算　額 | 13,200千円 |
| 決　算　額 | 13,200千円 |

４　２０２５年日本国際博覧会と連携した探究教材開発に関する事務

【新規】（１）２０２５年日本国際博覧会ＳＴＥＡＭ教育等推進事業費

大阪・関西万博テーマ事業プロデューサーの中島さち子氏が代表を務める株式会社steAmと連携し、府立桜和高等学校をモデル校として12コマ分の探究学習に活用できる「万博ＳＴＥＡＭ教育プログラム」を開発し、府立学校に配付した。

本プログラムは、府立学校の生徒たちが、令和７年度に地元で開催される大阪・関西万博のテーマに関連して、自らの興味・関心を深め、仲間と協働で探究し、体験型ワークショップを企画・運営することで、体験した方々の考え方に働きかける経験ができるものとなっており、府立学校における活用を進めた。

|  |  |
| --- | --- |
|  | ５年度 |
| 予　算　額 | 2,150千円 |
| 決　算　額 | 2,148千円 |